

至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 佐野 正
令和2年度 2月号
2月1日発行

今年度も、【至誠】…〔真心を尽くす〕本校の校訓【致知】…〔知識を極める〕【鍛錬】…〔心身を強く鍛える〕の精神を学校経営方針の柱として、「チーム双葉中」で生徒、教職員、保護者が一体となって取り組んでいきたいと思ひます。ご理解とご協力の程、よろしくお願ひいたします。

学校教育目標 【主体的に学び、心身ともに健やかで、人間性豊かな生徒の育成】

学校評議員会及び学校関係者評価会議

1/19(火)に、4名の学校評議員(1名欠席のため)のみなさんにご来校いただき、学校評価アンケートなどを参考資料にしながら、「学校評議員会及び学校関係者評価会議」を行いました。

学校評価の自己評価からも、双中生は、充実した学校生活を送っていることがわかります。また、今年度は感染症予防の対応に追われる中、生徒や保護者、教職員の結束(まとめ)が感じられたという項目が多かったです。評価が向上しましたが、教職員が勉強を丁寧に教えることやICTの活用は研修を積み、さらに努力していかなければならないと思ひました。



課題として、相談できる友達の存在があり、SNSなどの利用も含めて、生徒同士の人間関係の難しさが挙げられました。多感な年頃で、たくさんの方を学んでいる生徒に対して、これからも、保護者、地域、教職員がチームとなって、生徒が大人になっていくための支援を行っていききたいと思ひます。

【ご意見】

- 今年度は感染症の影響があり、学校運営に変化が見られ、データが役立つ年でした。
- PTA活動参加への数値が低下しているが、保護者が来校する機会が減ってしまい残念だった。
- 各行事の縮小は、安全・安心上やむを得ないが、生徒や職員の結束や熱意が感じられた。
- 休校期間が長かったが、授業時数挽回のために工夫され、先生方の苦勞が伺える。
- 学校ホームページや安心メールの発信が迅速、的確であり、とても効果的だった。
- 双葉地区の良さや特徴が感じられた。あいさつや地域協働などをさらに伸ばしていきたい。
- 教育活動のPDCAを目的にこの評価が始まった。画一的・標準的に見ることも必要だが、個々の生徒を分析し、個人の能力や素養を伸ばし、社会に出てから役立つ人材の育成を図ってほしい。
- 学校の要望も、今後ともバックアップしていきたい。

今年度最後の「PTA常任委員会」

1/22(金)には、今年度最後の「PTA常任委員会」をできるだけ縮小して開催しました。最後まで書きましたが、今年度はPTA総会も紙上提案となり、常任委員会も満足に開けず、本会役員さんに来校していただく会議がほとんどでした。

議事では、庶務報告や今後の予定、令和3年度の役員を選出、来年度の行事、生徒の様子などについての話し合いを行いました。

コロナ禍で大変なときに、保護者と教職員が「チーム双葉中」となって、力を合わせて生徒の健全な生活のため、活動をしてきましたが、早いもので、1年間が終わりに近づいています。

五味PTA会長をはじめ、PTA役員のみなさまには、常に生徒や双葉中のことを第一に考えていただきました。1年間の温かいご支援、ご協力に對しまして、心から感謝申し上げます。

引き続き、保護者と教職員が一緒になって、PTA活動を進めていけたらありがたいと思ひます。

「チーム双葉中」

生徒447名と教職員が、保護者や地域の方々と共に

「チーム双葉中」として取り組んでいます。

学校住所：〒400-0106 甲斐市岩森1337

電話：0551-28-2019 FAX：0551-28-5689

ホームページ <http://www.city-kai.ed.jp/fchu/> も併せてご覧ください。